

「医療専攻」たより



新潟県立新潟西高等学校 Vol.6 令和3年2月26日

医療業務に携わる人材（看護師・保健師・医療検査技師・診療放射線技師等）育成のための進学指導を行います。

→ 新潟大学医学部保健学科、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟青陵大学、長岡崇徳大学等の進学を目指します。

○令和2年12月6日(金)16:00～17:00 会場:社会科教室

1学年医療専攻希望者対象 医療講演会

テーマ:「看護の仕事」

講師:池田かよ子先生 (新潟青陵大学大学院看護学科研究長)

来年度、医療専攻9期生となる予定の1年生が初めて受講する講演会が行われました。看護を学ぶことができる4年制大学として、西高生にも人気の高い大学である新潟青陵大学の池田かよ子先生から今年も御講演を賜りました。今年は、看護の仕事についてのお話と、事例をあげてグループワークをしながら、看護の本質とは何かを学ぶことができました。



* 生徒の感想 *

一言に看護師と言っても専門看護師や認定看護師があり、幅広い道があるということを知りました。また、ケアとは看護師がするものだと思っていましたが、ケアする者とケアされる者との相互作用の中に生じる行為だということを知りました。…看護師とはただ採血や点滴などの医療行為を行うだけでなく、患者さんとのコミュニケーションをとりながら、「心のケア」をすることも大切な看護師の仕事だと思いました。また助産師は、お産の介助をするだけでなく、母体の健康管理や、育児をするにあたっての不安解消など、様々な仕事をしていることがわかりました。保健所・保健センター・学校でも助産師が活躍できることを知り、とても感動しました。

○令和3年2月10日(水)16:00～17:00 会場:社会科教室

1学年医療専攻希望者対象 医療講演会

テーマ:「チーム医療～質の高いケアの提供のために～」

講師:渡邊千春先生(新潟医療福祉大学看護学部看護学科准教授)

医療専攻9期生となる予定の1年生への2回目の講演会が行われました。多職種の医療を学べる4年制大学として人気の高い大学である新潟医療福祉大学から、渡邊千春先生をお招きし御講演を賜りました。渡邊先生は、「グループ」と「チーム」の違いについてわかりやすく説明してくださいました。生徒たちは、多職種の学生たちでまとめた発表を見ながら、「チーム医療」を行うことによって患者さんに質の高いケアが提供できることを学ぶことができました。



*** 生徒の感想 ***

今回の講演で、これから自分がしていかなければならないことがわかりました。…医療現場では色々な人と連携することが必要であり、そのためには相手を理解し、互いに尊重しあうことが大切だと学びました。そこで、私も普段から人と助け合い、理解し合いながら生活していかなければいけないと思いました。また、医療現場で働くためにも、もっと英語を習得しなければいけないと感じました。海外の大学と連携しているのを見て、英語を学ぶことの重要性をより実感することができました。

○「第8回医療専攻発表会」

目的:医療専攻第8期生として、1年生～2年生の医療専攻プログラムを通して学習したこと・考えたことを各人が発表し、将来、医療従事者として活躍する決意を新たにする。

日時:3月19日(金) 14:00～15:30 (本校視聴覚教室)

内容:パワーポイントを使用して、10名(6組)の口頭発表

講評:新潟大学医学部保健学科看護学専攻 田中美央准教授

